

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	レジリエンス・スポーツセンター（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和8年1月14日		～ 令和8年3月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数) 39
○従業者評価実施期間	令和8年2月13日		～ 令和8年3月2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	マンツーマンでの運動療育により、子ども一人ひとりに合わせた内容のプログラムの提供が可能となり、成功体験から自信に繋げることができている。また、保護者が常にレッスン内容を見ることができる環境のため、気軽に相談がしやすい。	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの希望に合わせて、個別レッスン、同室レッスンを分けている 子どもの得意、不得意を見極めどうやったらクリアできるかを考えモジュールステップで成功につながるよう工夫している 子どもの日常の様子や困り感など情報を取り入れ支援に活かせるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 未就学児は年齢や月齢による運動発達の違いが顕著にできるため、定型発達の基準を知り、今の子どもの状態にあった運動内容を提供できるよう職員研修や子どもの支援内容を詳細に共有し、つながったレッスンにしていけるように更に職員の振り返り時間を確保していく。 子ども、保護者、職員双方での関りを大切に支援していく。
2	個別レッスンが主体だが、マンツーマン型の集団療育により集団場面での苦手さがあるお子さまにも丁寧に対応することで成功体験につなげることができる。	<ul style="list-style-type: none"> プール教室や野球教室、サッカー教室、その他特別イベント（アイススケートやボルダリングなど）を開催している。 集団レッスンでもマンツーマンで職員が対応することで、集団での苦手さがあるお子さまにもモジュールステップで成功につながるように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 新人スタッフが加わる場合、暗黙のルール（子どもの活躍が引き立つような配慮や勝ち負けへの配慮など）を含め事前に情報共有し、全員で共通認識を持ったうえで集団療育に携われるように引き続き情報共有していく。 参加するお子さまに合わせて、レジスポルールを適用したり、より明確に分かりやすく伝わるよう指示を行うなど工夫した支援していく。
3	個別支援計画に基づいて、お子様一人ひとりに合わせた支援内容を考え、提供することができる。	<ul style="list-style-type: none"> モニタリングで保護者様、お子様のニーズを聞き取りし、それに沿った個別支援目標を立てている 過去の支援記録・個別支援計画を一覧で見ることができると、支援前にはその内容を確認し、その日担当のスタッフが支援内容を組み立てて提供できている 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きモニタリングをしっかりと行いニーズをくみ取ることで、お子様に合った個別支援目標を立てていき、達成に向けて支援内容を提供できるように情報共有していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流やその他地域で他のこどもと活動する機会が少ない。	人員不足のためきょうだい児や地域の子ども達も参加できる「サークル活動（集団）」を休止していることもあり地域との交流が持てていない。	人員を確保し、「サークル活動（集団）」を再開できるよう職員で話し合い、令和8年6月祝日の日から再開予定になっています。
2	保護者同士の交流やきょうだい同士（きょうだい児）の交流機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者懇談会の実施は行っているが、今年度は不定期開催になっていることや周知が足りていない。 個別レッスン（利用者）主体になっているため、きょうだい児さんが一緒に参加できる機会が少ない。 	今年度は開催が少なくなってしまったため、次年度は保護者様の情報交換の場になるようテーマを設定したり、長期休みやゴールデンウィークなど休みの日に家族（きょうだい児含む）で参加できるボウリングやアイススケートなど特別イベントの開催をしています。
3	マニュアル類は完備されているが、保護者への周知が十分行われていない。また、避難訓練なども実施しているが、個別レッスン主体なため利用者の参加ができていない。	<ul style="list-style-type: none"> 1年に2回、定期的の実施しているが保護者に向けての周知が足りていない。 事前予約制のため、時間帯によって利用者の参加が難しい。 	定期的にHUG等で配信をし、全体への周知を行っていきます。また、利用時（レッスン中）に避難訓練を実施するなど利用者も参加しやすいよう告知を行っていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 レジリエンス・スポーツセンター(児童発達支援)

公表日 令和8年3月30日

利用児童数 42

回収数 39

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	38	1			十分な広さで楽しませてもらっています。	今後もお子さまの成長に合わせたスペースの確保や、活動内容を工夫していきます。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	38	1				・今後もマンツーマンレッスンで、手厚く支援できるよう尽力してまいります。 ・安全面にもしっかり配慮し、安全に運動できるように体制を整えていきます。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	37	1		1	分かりやすすぎてなんでも取りたくなるくらい楽しそうです。	・各レッスン室にシンボルマークをつけて、それをレッスン室確認ホワイトボードにも貼り付けて対応するなど、数字が読めないお子さまにしてもマークをご覧になってレッスン室にのけるよう整えています。 ・お子さま自身で準備片付けができるよう環境を設定しつつ、引き続き整理整頓をしていきます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	39				換気がしっかりとされています。	今後とも安心して通っていただけるよう、掃除や除菌など引き続き行っていければと思います。	
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	39				おかげさまで、通い始めた頃より周りの同学年の子供に近い成長している。 毎回自己肯定感が上がった状態で帰ることができています。	今後もスタッフは日々学ぶ姿勢を大事にし、お子さまのいい所をたくさん伸ばしていけたらと思います。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	39					プログラムに沿って継続してよりよい支援につなげていきます。	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	38	1				保護者さん、お子さんのニーズに寄り添い、就学に向けて本人にあった計画を立て、しっかり支援できることを大切にしています。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	38				1	5領域に沿った支援を行っています。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	39					本人の様子や支援計画に沿った支援が提供できるよう、スタッフで情報共有を徹底して行い、よりよい支援につなげていきます。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	38	1			毎回、子供がやりたい事だけでなく必要なプログラムの提案がある。	同じ種目に偏らないよう、お子様のニーズをくみとりながら他の動きや道具につなげていけるよう工夫していきます。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域での子どもと活動する機会がありますか。	13	2	7	17		個別レッスンが主体になっていますが、今後、交流ができる機会を検討していければと思います。	
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	39					引き続き丁寧な説明を心がけ説明を行います。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	39					引き続き丁寧な説明を心がけ説明を行います。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	36	2			1	ペアレントトレーニングは今年度も開催できていないため、開催できるよう調整していきます。	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	39					毎回、相談出来ている。 毎回レッスンの後に、コメントをいただけるのがありがたいです。	職員による保護者様への声掛け含め、会議や個別相談時に情報交換し、引き続き共通理解が深まるように努めます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	37	2				毎回、助言を頂けている。 定期的なモニタリングを行ってもらっています。	コーチ（療育者）としての立場で可能な限り有用な助言ができるよう努めます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	38	1					来所時の会話を大切に、充実できるよう努めます。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	29	2	1	7		イベントの際は、きょうだい児も参加し、きょうだい児も一緒に楽しく参加させていただいております。ありがとうございます。	今年度は保護者懇談会の開催が少なくなりましたため、次年度は開催を増やしていければと思います。また、家族で参加できるような運動イベントの開催を企画していきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	34			5		利用の際に保護者様とお話させていただいております。改めて相談の受け入れができることを周知していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	38	1				利用時に保護者様とお話させていただいております。引き続き、保護者様との情報伝達に努めます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	37	1		1		毎月「月刊レジスポ」やHUGでの配信させていただいております。引き続き、配信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	37	1		1		個人情報に関しては徹底しております。改めて厳重な取り扱いをしていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	1		10	参加はした事はないですが、実施している様子を事業所便りで見たとあります	職員全員で訓練内容は把握しており、定期的に訓練を実施しています。様々なマニュアルを気軽に見て頂けるよう、周知していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	2		15		個別レッスンの関係上、訓練は全体で実施することは難しく、保護者様にはその旨ご理解いただけるよう周知いたします。また、実施した際にはお知らせしていきます
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	36			3		安全確保を維持し、危険な要因は新たに対策を講じていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	1		8	事故の発生がない為。	ケガや事故が起こらないように、職員間で想定されることを共有させていただいております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	38	1			毎回通うのが楽しいみたいです。	今後も安心して通所できる環境を整えていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	39				とても楽しみにしています！ 毎回とても楽しそうに活動しています。ありがとうございます。 予約してないと怒るくらい楽しみにしています。 毎回嬉しそうに通っています。	楽しく体を動かし、自信を持って様々なことに挑戦できるように支援していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	39				楽しく運動できる機会になっています。ありがとうございます！ いつも楽しく参加させていただいております。ありがとうございます。 大満足です。	・引き続き、ひとりひとりのスタッフが意識し、明るく笑顔でレッスンをを行い、お子様の成長をサポートしてけるようスタッフの体調健康管理を徹底していきます。 ・体を動かす楽しみを知り、一緒に試行錯誤しながら成功体験を積み、自己肯定感を高め、様々なことに挑戦するレジリエンス力を育てていくよう支援していきます。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	レジリエンス・スポーツセンター（児童発達支援）	公表日 令和8年3月30日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	・個室レッスンになっているので、スペースの確保ができています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	2	・メインスタッフとサブスタッフの2名体制をとっている。	・もう少し職員が増えて欲しい →配置基準を満たした職員数ではありますが、急遽の休みがでた場合サブの対応が難しい事があるため、職員の配置方法については不測の事態に対応できるよう配慮致します。またSNSを活用するなど職員募集も引き続き行いつつ、職員定着ができるようサポート体制を整えていけるよう対応していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	・安心して通えるように環境設備を行っている。 ・エレベーターがあるため、身体障がいを持ったお子さんも安心して利用できる。	・レッスン終了後、道具が散乱していたり、写真の場所に種目がないこともある。 →改めて使った場所に戻すことを意識できるよう声かけしたりレッスン終了後アルコール消毒しながら確認する癖をつけていけるよう共有していきます。また、道具に印をつけたり、その部屋で完結できるように課題を組み立て、できるだけ別の部屋に借りにいかないなど今後検討していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	・毎日レッスン前に掃除を行ったり、道具のアルコール消毒も行っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	・個別レッスンなので、お子様によっては、ひとりの空間を作ったりできています。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・朝礼、終礼、月1回のミーティングを行い、定期的に職員が意見を言えるように環境づくりをしている。	・職員の意見を聞いてはいるが、事業所間で意見が食い違うと改善まで時間がかかるか見送られる印象。 →全体で意見を聞く前にもある程度のベースを管理職で決め質問する機会を設けるなど迅速に対応しスムーズに改善できるよう対応していきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	・月1回の所内研修を設けている。 ・外部講師を依頼したり、外部研修を受講したりしている。	・最近は少ない気がする(記録やら業務で忙しくて難しい感じがしますが、) →担当が決まっているわけではないため、積極的に職員から声を上げやすいよう業務の改善を行うなど時間と心にゆとりがもてるよう環境設定を整えていけるよう工夫していきます。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	モニタリング二には保護者・お子さんのニーズに合わせた計画書を作成できるように心掛けている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	作成時は聞き取りは難しいが、会議前など共通理解で支援ができるよう様子を聞いたり、モニタリング終了後聞き取りをしている。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	目標とするゴール(支援計画)はチームで共有しているが、活動プログラムは担当スタッフが考えている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	各スタッフの能力頼りではあるが例外を除いて、固定化しないようといった共通認識はある。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	個別レッスンでは必ずではないが、集団レッスンでは必ず行っている。	個別レッスンではサブスタッフが例外を除きランダムで配置されるので、打ち合わせが難しいのかもしれない。 →共通支援の内容はクリアファイルなどで情報共有しつつ、担当したスタッフがしっかりと状況などを引き継いでいけるよう心がけます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	・必ずではない。時間に追われている(次の準備など)ので現実的ではないが、記録に気づいて点など記入をするので、次のレッスンへは活かしている。	・その日にやったり、やらなかったり →HUGのケア記録部分にアプローチしたことや気になったこと、ヒットしたことなどを記載することでどの職員が担当しても継続的に活かして行けるよう活用しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		
関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		分からない。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	6	3		地域全体の質の向上に資する取組等が分からない。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7	2	保護者懇談会が子育て会議にあたるのかな。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	4		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	3		
保護者への説明等	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2		わからない
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	1		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0		発信しているが、どこまで見られているか、効果があるかは疑問である。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	4		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	保護者からのアセスに基づく対応	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0		